

もしも・・・ に備える

近隣市町と災害時の応援協定を結

んでいます

伊丹市、宝塚市、猪名川町との間で「災害時における水道事業の相互応援に関する協定」を締結し、5カ所の相互融通管を整備しています。また、大阪府池田市と、いずれかの給水区域内で発生した事故、濁水、災害等による断水等が生じた場合に、災害時相互連絡管を使用し水道水の供給を行うこととした「災害時相互連絡管の管理運用に関する協定書」を締結しています。



災害備蓄水の（川西市のもしもに備え

た優しい水」を作っています

久代浄水場の水道水を原料にした「川西市のもしもに備えた優しい水」（500mlペットボトル）を毎年約1万本製造し、災害時に避難所となる市内各公民館の避難収容人数（1人3本）分を配布しています。



ご家庭でも飲料水の確保を

地震などの災害発生から救援体制が整うまでに、およそ3日間を要するといわれています。それまでは、各家庭で備蓄している飲料水や食料が必要となります。

人が生きていくためには、最低1人1日あたり3Lの水が必要で
す。非常事態のために飲料水を貯えておくように心掛けましょう。



飲料水の保存方法

水道水を保存する場合は、フタのできる清潔な容器の口元いっぱい水を満たし、フタをしっかりと閉めてください。

日の当たらない涼しいところでは、3日間程度、冷蔵庫の中では1週間を目安に水を入れ替えてください。